



学校だより

令和7年 4月 7日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

「村山STYLE」を丁寧に、大胆に、作っていくための一年とする

令和6年度、高等部の3月の卒業式は雪が降りました。令和7年度になった4月1日から雨が降り続き、桜はどこに行ってしまったのだらうと思っていましたが、始業式、入学式を待っていたかのように美しく柔らかい花びら満開となりました。季節もゆっくりと変わってきています。

私は今年1月に、目指していく漢字は「進」という漢字を選びました。「前に進む」ことの意味を、じっくりと考えて村山特別支援学校の今と、これからを調べて前へ前へと進めていきます。

【始業式、入学式での四字熟語の真意とは…】

「春和景明（しゅんわけいめい）【春の日の穏やかで光が明るい様子】」については、始業式に児童・生徒に話し、入学式でも、校長式辞の冒頭にお話しする、春の日の美しい情景が浮かぶ四字熟語です。

この四字熟語のお話の続きをいたします。この四字熟語は、中国、北宋（はくそう）の范仲淹（はんちゅうえん）が1046年に書いた散文「岳陽樓の記（がくようろうのき）」の中にあります。大意は、名勝・岳陽樓は、時節によって人を憂えさせ、また楽しませもする。しかし、真に優れた人物は、環境や個人のその時々立場によって感情を左右されてはならず、「心配ごとは人々より先に心配し、楽しみごとは人々よりも遅れて楽しむ」ものである。というものです。美しい季節の移り変わりの中にあっても、現状をきちんと精査し、判断しなければならず、楽しみは後から楽しむこと、「後樂園（こうらくえん）」という言葉はここから来ていると言われています。4月は出会いの月です。新たに児童・生徒を迎え、教職員の顔ぶれも変わりました。心が華やかになる季節ですが、だからこそ落ち着いておだやかに、令和7年度を見通して精査し、前へ前へと進めていく準備をしなければならないと、4月はいつも、この四字熟語を噛み締めています。縁あって今年度、村山に集まった「チーム村山」の児童・生徒、そして教職員が安全・安心に一年間過ごしていけるよう、あるべき「村山STYLE」を構築してまいります。



【様々な職種、職層からなる「チーム村山」だからこそできること】

暖かく穏やかな春を迎えました。就学・進級・入学された児童・生徒の皆さん、おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様のこれからの成長のために、学校と共に手を携えて御協力いただけると幸いです。

令和7年度は、小学部10名、中学部6名、高等部8名、計24名の新入生を迎えました。学級数は43学級、全校児童・生徒は115名です。

教職員は、校長、副校長2名、教育指導系職員103名、行政系職員43名、計149名でスタートします。

主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、養護教諭、非常勤教員が77名。主任学校介護職員と学校介護職員が26名。行政系は、経営企画室長、主任、主事、栄養士、看護師（常勤、主任非常勤、総合非常勤、非常勤）、バスクラーク、スクールバス安全運行支援員、障害者雇用支援員、教育事務補助員（配置予定）、ICT支援員、スクールカウンセラーと、実に様々な職種、職層からなります。このほかにも、非常勤講師、外部専門員、給食調理員などチームとして村山特別支援学校を支えています。今年度も、土台をしっかりと組み、学習指導要領に基づいた根拠ある授業づくりを行ってまいります。児童・生徒が、これからオンリーワンの花を咲かせるための充実した一年となるように、全校教職員一丸となって教育活動に取り組んでいきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

校長 阿部 智子

「村山STYLE」2年目突入

児童・生徒の自信を培う授業を目指します

4月当初の寒さが嘘のような暖かい日差しの中、新年度を迎えることができました。

御入学・御進級おめでとうございます。

村山特別支援学校2年目を迎えます 副校長 清水 明美（しみず あけみ）です。
今年度は、小学部の担当となります。中学部・高等部も谷本副校長と連携しながら関わってまいりますので、よろしくお願いいたします。



（昨年度の夏季研修会の様子）

「村山STYLE」2年目になり、今年度も、学習指導要領に準拠し根拠に基づいた授業作りに取り組んでまいります。校内研修では、それぞれの授業のねらいや目標を確認し整理していきます。教科指導の充実に取り組み、障害に応じた個別指導に取り組みながらも、集団を大切に指導をします。「待つ」時間は、決して空白ではなく、雰囲気を感じたり、友達の発表を聞いたり、見聞きした情報を整理して自分自身の知識にしたりする大切な時間です。自身の知識を増やすことで、様々な活動において、一人一人が自分で考え判断し、自信をもって取り組めることを目指していきます。

高等部卒業後、児童・生徒一人一人が、様々な選択を自信をもって行えるように、小学部から段階的に課題を見据え、指導に取り組んでまいります。

今年度も、本校の教育活動に御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

副校長 清水 明美

「令和7年度 村山特別支援学校 スタート！！」



寒い冬を越えてきた桜が花を咲かせ、新たに令和7年度が始まりました。

村山特別支援学校3年目となりました、副校長 谷本 式慶（たにもと つねよし）です。
今年度は、中学部、高等部を主に担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

毎年、安全・安心な学校、児童・生徒一人一人の力を伸ばし・発揮できる教育活動の展開

が行えるよう、年間を通じて様々な研修会を実施していま

す。ここでは、4月3日（水）、東京消

防庁北多摩西部消防署

の多大なる御協力により実施した「心配蘇生法実技研修会」の様子を御紹介します。

訓練用AEDと心肺蘇生法実技用的人形15セットを用い、教職員2人一組で「意識がなく、普段どおりの呼吸がない」場合、どのようにその状況を見極めるのか、119番通報後、救急隊到着まで人命を守るために何を行うのか、ということについて、実技をとおして学びました。教職員からは、体の小さな児童・生徒への対応についてや、水泳指導中での注意点は何か等、具体的な場面を想定した質問が活発に行われ、丁寧に御対応いただきました。感謝申し上げます。

長期休業期間、短縮授業の午後の時間等を活用し、このように教職員が研修を行うことで、児童・生徒が学校において、十分に力を発揮し、高めていけるよう進めてまいります。

副校長 谷本 式慶



緊急事態が生じた際に、いつでも出動できる態勢で本校の研修に来てくださっています。

